

湯川村立小中学校整備委員会 第3回会議録【外部資料】

- 1 日時
令和8年7月22日（金）午後4時00分～午後6時00分
- 2 場所
湯川村公民館「大ホール」
- 3 出席委員
23名中17名
- 4 出席事務局等
○教育委員会4名
教育長、次長、外2名
○一般財団法人ふくしま市町村支援機構 2名

（開会 午後4時）

教育次長が進行を行った。

- 1 開会
教育次長が開会を宣言した。
- 2 教育長あいさつ
改めまして、こんにちは。
お忙しい中、そして、非常に暑い中、御都合つけていただきまして本当にありがとうございます。
義務教育学校先進校の視察ということで、この中で稲田学園それから、湖南小中学校を視察させていただきました。
特に他のところの取組や様子などを視察頂いて、いろいろお気づきになっているようなところ、それからこういったこともできるのかな、新たな発想をされている方もいらっしゃるかと思います。
本日の整備委員会ということで湯川村の皆さんの一番関心が見えるところと言っても過言ではないと思います。

基本構想の策定に向けて、皆さんからの忌憚のない御意見を頂戴できるとありがたいなというふうに思っています。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

3 委員長あいさつ

皆さんこんにちは。

お忙しい中、また、この暑い中、出席頂いて本当にありがとうございます。

今ほど教育長さんからお話がありましたが、先日、須賀川市の稲田学園、郡山市の湖南小中学校の視察に行っていました。

今日は、視察の結果、また統合コンセプトの基本構想、あるいは建設に当たっての共用できる部分や必要教室、あと児童クラブ等について話し合っていきたいと思いますので、皆さんの忌憚のない御意見を頂戴したいと思います。

よろしくお願いします。

4 説明・協議事項

(1)「視察内容」について学校教育係片桐が資料に基づき説明した。

【質疑応答】

委員長 はい、ありがとうございます。

それでは何名か視察された方がいらっしゃいますので、参加された方からも御意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いします。

先日、6月29日に今事務局からお話ありましたように、須賀川の稲田学園、そして湖南の小中学校を見学させていただきました。

机上でいろんなこうしたらいいか、ああしたらいいかという思いもありましたが、実際見てみると本当にすばらしい学校であれを超えるような学校を作るには、どうしたらいいのだろうという思いで帰って来ました。

この学校全体がゆとりある、ゆったりとした、またその地域の人たちの思いを込めて子供たちのために、作られた学校だなと思い本当に感動いたしました。

こちらでも、明日も行きたくなる学校を目指していくということで、教育方針にあるように、せっかく作るのであれば後世

に残るようなすばらしい学校を作って、湯川の小中学校を見てみたい、そう言われるような学校を作っていきたいと感じたしだいであります。

すばらしい学校を作っていきたいと思いますので、どうかよろしくをお願いします。

委 員 皆さんお疲れさまです。

視察に行かせてもらいましたが、私が通っていた学校の時代とはやはり違い、かなり変化している学校になっていると思いました。

視察先の学校の先生の説明を聞いていると、いろいろ工夫しながら学校を作られているというのが印象に残っています。

ほとんどがバリアフリーでガラスと木で作られていて、誰が見ても一目で見渡せる感じで、とても広くて明るくて、子供たちは授業をしていましたが、廊下からも全体をすぐ見渡せる感じで、子供たちが伸び伸び学校生活を送れているなと感じました。

廊下も足がぶつかったり、接触して怪我がないように、よく考えながら作っているのはとても印象深かったです。

とにかく素晴らしすぎて説明し切れないですが、2校視察して湯川村で作るので予算はあると思いますが、他校に負けなくらい良い学校を作って頂いて、子供たちがすくすく育つ、いい場所になればいいなあと保護者として強く思いました。

委員長 はい、ありがとうございます。

稲田学園について、まず私が感じたのはトイレの工夫です。普通トイレの個室は扉が開いていて、中に入って扉を閉めるので男子は恥かしがって入らない、扉が最初から全部閉まっているので誰が入っているか分からない状態なので男の子たちは入りやすいそうです。

女子トイレは一般的ですが、男子トイレはそういった工夫をしています。

私もずっと教師をしていたので、よく男の子たちが、お腹が痛いのに、恥ずかしがってトイレに行かず我慢して、それで結局保健室に行くことがあったので、そういった工夫で改善できるのは良いなと感じました。

また職員室から校庭がよく見える位置にあること、稲田学園も湖南小中学校もそうでした。

小学校と中学校の先生たちが一緒に広い職員室で、例えば小さい声の校長先生だと遠くにいる先生には声が届かないのではと思いました。

あとは今、お話にありましたが、とにかく校舎が明るいです。

外観は鉄筋ですが中に入ると木造で、廊下と教室の窓が全てアクリル板とガラスです。どこからでも見えるような造りになっています。

とても明るくて開放感がある建物でした。

あとは、いろいろメモしてきましたが、まだまだいっぱいあります。

稲田学園は職員玄関はきゃしゃな感じがしました。ただ昇降口の屋根が大きくて大型バスが停車できるようになっています。

軒下がとても広いため、雨が降っても濡れないでバスに乗車できるのは大変すばらしいと感じました。

それと児童クラブは、すぐそばにあるような造りになっていました。

また湖南小中学校は、やはり地域の思いが大きく、自分たちで作った学校という感じがして強い思いも感じました。

その為、木材等は地域の人たちが提供した杉の木なのだそうです。

体育館の屋根の梁も杉の木で作られていて重厚感があり、大変立派な造りになっていました。多目的ホールも杉の木が使われていました。

また、稲田と湖南に共通するのが保健室の中にシャワー室を必ず作っていることです。

外観は普通の建物だなという印象でしたが、中に入ったら圧倒するような感じの学校でした。

委員 私も同じように、開放的で木材がすごく使われていて、何か温かさを感じる学校だと思いました。

私は稲田学園に行きましたが、須賀川市の教育委員会の方から教えてもらった追加情報としては、4 ページ目の稲田ホール、多目的ルームの写真ですが、とても広くて窓が前面にあり

開放的ですが、冷房は問題があるというふうにおっしゃって
いました。ここは冷房がついていなくて、夏は暑くなるので冷
房をかけても広過ぎて涼しくならないようなお話があったの
で、その辺は考えないといけないと思いました。

あとメディアセンターというところが平面図を見てもらっ
ても少し分かりづらいですが、これは包括一体化しているよう
な形でした。

誰でも通りがかりに立ち寄れるような形になっていました。
小学校と中学校で本の種類が分かれているわけではなく、一緒
に一つのメディアセンターになっていたのも、いろんな本が読
めて良いのではないかと思います。

あと、稲田学園のプールはきれいでしたが、湖南小中学校の
プールの写真を見せていただいたらプールの上に日除けみたい
なものがついていました。

最近、気温が高くプールに暑くて入れないという話を聞くの
ですが、プールの上にネットのようなものを張ったら、水温が
低くなりプールができる日数が増えたというニュースを見まし
た。

水温が全然違うということも言っていたので、そんな工夫も
あるんだなと思いました。

郷土資料室については別の件ですが、学校博物館を作ってい
るところがあります。

そこは学校の資料だけではなく地域の資料を学校で保存して
いこうということを行っているそうです。

地域の人たちが持っている昔の道具等をほとんど捨ててしま
っている状況なのでそれを何とか学校で保管できないかなとい
うところで、先生たちが博物館を管理するというよりは、学芸
員さんの補助、サポートのもとで専門の学校博物館専門の方が
いて、管理をしているそうです。

情報提供は以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

何か皆さんから聞きたいことはありますか。

はい、どうぞ。

委 員 稲田学園の⑥の特徴のところの低学年教室の小上がりとは、

どのようなものだったのか教えていただきたいのと、もう一つは、広い多目的ホールですが、椅子とか机等そういったものは収納されているのかというのもお聞きしたいです。

よろしくお願いします。

事務局一つ目の小上がりスペースというのが、3ページの11番の教室③というものになります。

これが教室のわきのほうに設置されて、畳の上で少し休めるようなスペースになっています。

二つ目の質問の多目的ホールの椅子関係ですが、この稲田ホールは多目的ホールで広いスペースになっています。

その横に倉庫があるのでそこに椅子等が入っているのではないかと考えられますが、はっきりと確認したわけではないので確定ではありません。

委員長 他に何か聞きたいことはありませんか。

委員 ガラスというのは、二重ガラス、三重ガラスだったりするのでしょうか。

今は大体普通のガラスだと思いますが、雪国なので二重サッシ等の方が寒さが和らぐと思いますが湖南小中学校はどうでしょうか。

事務局 すみません、そこまでは確認していなかったので学校に確認します。

委員 どちらの学校も学校の中はアクリル板になっていて、ぶつかっても、ケガをしないようになっていました。

委員 音に対してはどうでしょうか。

前回も少しお話しましたが農村部なので、大きい機械で作業するので機械の音も出るので、中学校のすぐ裏にも田んぼもありますし授業の邪魔にならないか心配です。

その点も確認していただいてよろしいですか。

もう一点だけよろしいですか。エアコンは全教室に完備されているのでしょうか。

事務局 教室のほうには全てエアコンがついていて、稲田ホールだけが完備されていなかったというような話だと思います。

委員 はい、分かりました。ありがとうございます。

次長 ガラスの件でしたが、支援機構さんに確認したところ一般的には標準の学校はペアガラスで作られるそうです

委 員 中学校から農作業の音がうるさいという声は聞こえてこないですか。

次 長 これまでも、秋作業中は大きな音が出ていると思いますが、うるさいという声は聞いていないので大丈夫かと思います。

委 員 ありがとうございます。

委 員 湯川の小中学校にはないですが、小学校と中学校の更衣室、今小学校は理科室と音楽室で女の子と男の子に別れて着替えをしていると思います。

視察した学校には更衣室は設けてありますか。

委 員 稲田学園に確か4年生と6年生の教室の間に更衣室があったと思います。

(2)「学校コンセプト素案」について学校教育係片桐が資料に基づいて事例紹介を行った。

【質疑応答】

委員長 今ほどの説明に何か質問等ありますか。

委 員 1ページ目ですが施設整備のコンセプトということで題目がありますが、新たな学校の姿といった時に、2校の良さを受け継ぐということと、次の子供たちの未来につながる学び舎というのが、なかなかつながらない、やはりどういう意味なのかイメージがわからないものですから教えて頂いてよろしいでしょうか。

教育長 箕川小学校、勝常小学校 150 年もの歴史があります。それぞれの学校で、それぞれの地域の皆様方がいろんな思いで支えてくださって今まで大事にしてきたと思います。

その思いを大事にしていきたい、勝常地区、箕川地区からそれぞれの学校、校舎がなくなる、でもその思いは新しい統合の小学校に受け継がれていくんだよという気持ちを込めて、こういった表現を使わせて頂きました。

委 員 すみません、教育長さんに反論するようで申し訳ないです。

施設整備のコンセプトなので、例えば教育内容とか、教育目標とかそういったところであれば、私も2校の良さを受け継いでというのは当然あってしかるべきだと思います。

施設整備のコンセプトとして、なかなか具体的に、どこを

見ればそれがあるのかといった時にちょっとピンとこないのではと思ったので、「子供たちの未来につながる学び舎」で充分ではないかと思いました。

教育長 お聞きして、なるほどだなあと思う部分も、もちろんあります。

稲田学園さん、湖南小中学校さん、どちらも統合前の校歌を書いた額とかそういったものが引き継がれていました。

そういった部分は大事かと思います。

笈川、勝常小学校ともに体育館に校歌が掲げられています
が、そういうものは引き継いでいくべきものだろうなと考えています。

委 員 大体納得しました。

委員長 その辺は施設整備なので、この件についてはもう少し教育委員会のほうで考えていただいて、もし2校の良さを受け継ぐというのであれば1番から5番目までの番号にまた一つ加える感じになるのかと思います。

他にありませんか。

なお人材育成については、15年間の育成プランをもとにしているわけなので、英語、ICTそして地域交流と、この3本柱でいくようになります。

どうでしょうか皆さん。

委 員 議論を戻すようで、また違う視点になってしまい申し訳ありませんが湯川村の学校建設に関して、建設費用も含めて、どういったものを建てていくか議論になった時、それと同時に複合施設の問題が出てきた時に話題になったことがあったと思います。

例えば、公民館もこの公民館はいつまでもつのだろうとか、それからユースピアの問題とか、福祉協議会があるところの保健センターがある施設の問題等があったと思いますが、イメージ的に大胆過ぎて予算も絡んで大変ですが、小中学校ができたところに 社会教育というか、そういった施設も併設することはできないのかと思いました。

どんなものでも結構ですが、例えば先ほど聞いた多目的ホールとか、そういったものの活用を広げていく、一般的に村民へも開放できるような施設を目指していくというコンセプトがあ

ってもいいのではないかと思います。そのことによって、子供たちにもいろんな人との交流が生まれてくる。

小学生と中学生だけの交流ではない、新たな交流も生まれてくるような施設を検討していただきたいと思います。
この資料をもらった後で思いついたものですから、ちょっとした思いつきで今話していますが、そういったことを検討してみても良いのではないかと思います。

事務局 地域交流・地域開放性というところにつきましては、注目が高いところかと思います。

後ほどそういった施設を作るのかということも含めて、資料とあわせて御説明したいと思います。

委 員 分かりました。

委 員 少しお聞きしたいのですが、国際化に対応した英語教育、それからデジタル、3本柱と言われるものの2つですが、現状はどのようなになっているのでしょうか。今の小学校、中学校の現状を知りたいと思ひまして。

教育長 現在は、国際化の部分については、ALT として外国の方に来ていただいています。

湯川村は ALT さんが2人いらっしゃって、お1人は中学校と幼稚園、もう1人が小学校、それから時々保育所にも行って頂いています。

15年かけて子供たちが英語に触れる、英語の勉強ができるようにしていますが、ただ、まだまだ充分ではないというふうに考えています。

昨日の中学校のコミュニティースクールの委員会の中でも取上げられましたが、もっと活発に英語の勉強できるような体制を作っていきたいと考えています。

委 員 デジタルの部分については、どのくらい考えているのでしょうか。

教育長 デジタルの部分についても、去年もですが今年も夏休みに先生方の AI の研修会を持ちます。

まず先生方が AI の指導というか、ICT、デジタルの指導ができるようになっていただいて、日常の授業の中でデジタル教材を使いながら勉強できるようにということでスキルアップを図っているところです。

委 員 分かりました。

次 長 GIGA スクールの担当からも補足します。

事務局 小学校も中学校も各教室に電子モニターというパソコンをつないで表示したり、それ自体でパソコンと同じように使える機器を整備しておりまして、学校の先生方はそれを使って授業を進めています。

また、子供も今、1人1台タブレット端末ということで、クロームブックというパソコン1台分の端末になっていますが、そういうものを児童生徒全員一人一人持って、活用しながら授業を進めておりますが、それをより一層高度化していきたいと思っています。

先ほど教育長からも、お話がありましたが、生成AIとか、新しい情報技術というものは日々進化していろんなものがあるので、そういった部分もスキルアップしながらこれからも取り組んでいきたいと考えています。

委 員 今の件で、現状で今テレビ電話というか、タブレット端末を使って授業、例えば欠席、学校に行けない子供がいたとか、そういった時にタブレット端末を使って授業をするというのは、現状では可能なのでしょうか。

教育長 はい、欠席している子供が大丈夫だという時には、教室にカメラを付けて双方向でできるような体制は整っていますし、実際にそういった授業を行っています。

委員長 よろしいですか。

では、次にいきたいと思います。(3)の共用部分についてお願いします。

(3)「共用部分」について学校教育係片桐が資料に基づき説明した。

【質疑応答】

委員長 今ほどお話がありましたが、分からないところとか、こうしたほうがいいのかというところはありませんか。

委 員 この中学校との共有部分も基本方針があるというところ

で、中学校3学年については、3階の教室ですけれども、このスペースを見ると致し方ないのかと思いますが、1番は今現在の

中学校の造りが廊下越しに見渡せない、廊下でつながっていないとか、死角が必ずできる造りになっていると思います。

どこから見ても真ん中から見ても、すぐ見渡せない、今までの学校だと一本の長い廊下があってそこから見ると、その間の児童生徒の動きはある程度つかめますが、湯川中学校は死角が多い造りになっていると思います。

3階から教室を撤去した理由は、生徒指導上の問題がある、そういった経緯で死角になる3階の1番端っこというのは先生方の目が行き届かないということを記憶しています。その辺、中学校の校長先生もいらっしゃるので考えをお聞かせいただきたいです。

事務局 補足的な部分で今現在3年教室がこちらにあるという理由の一つとしましては、3階のトイレが和式のままで改修できていないので3階のトイレを使えず、3年教室が2階にある状態です。

委員 トイレが駄目ならばトイレを改修するということで進めていただければと思います。先ほど言ったように、教室が遠くに離れるということにデメリットというのはないのか校長先生のほうからお話頂ければと思います。

委員 中学校は多感な時期なので死角が多い造りというのは、やはり我々教員としても、ちょっと気になるところであります。今の生徒は非常に落ち着いているので、特に問題はないところですが、1番はトイレの件がずっとありまして、お願いしていた工事が進まなかったことが理由です。

2階の今3年生が使っている教室が少し広いので、ここ数年3年生は人数が多いクラスが続いていて、今の3年生も1番多いので、その教室のほうが使いやすいというところと、3階の特別教室もそんなに多く使う教室ではないので、2階の間で移動できたほうが良いということ、やはり我々が管理するにも見やすいところもありまして、2階に3年生を置いています。

本来の造りとしては、トイレも直れば学年ごとに1階2階3階というところがありますし、いわゆる特別支援学級をどこに置くかという問題が毎年ありまして、その都度その都度、特別支援学級の場所を変えながら、1番良い形で子供たちが学年の交流も踏まえてできるところ、ある程度離れて落ち着ける場所が

確保できる場所というのを毎年考えています。今回は2、3年生を2階のままで、特別支援学級を3階に持ってきている形を取らせていただいています。

できるのであれば、多分今の形で、1、2、3年生が1階2階で収まると、使い勝手はいいのかなというふうに思うところではありますが、せつかく3階まであるので3階を使うことは可能です。

ただ、確かに生徒指導の問題というところも気にしていかなければいけないことは事実だと思います。

委員長 他はないですか。

委 員 今のお話しで大体理由が分かったので、これから検討していただければと思います。

私が気になったのが、それぞれの学年の教室のわきの学習室ですが、設備が整っていないのではと思いました。机も余った机を使っている感じでした。

これは、色々な活動をするにもあまりふさわしくないというか、そこは予算をつけて、もっと使いやすいようにしてあげたら良いのではないかと思います。

学習で使う、また色々な使い方をするにしても、何がいいのかと思い、私の経験で1番良かったのがスタックテーブルというものです。

五角形の5人掛けにしたり、対面に座ったりできるテーブルですが結構な値段はしますが、そういったものを使って、もっと子供たちが使いやすいようにしてあげたら良いのではないかと思います。

数的に多分最大増えて20人くらいかなと、今の読みだと、もう少し増えて、1学年に間に合うような数を作ってあげて、いろいろな学習がしやすいように、そして子供たちが利用したくなるような環境にしてあげることが良いのではないかと思います。

もしこの建物を建てるとすれば中学校の施設そのものも変えてあげるような予算付けをしていただきたいと思います。

そして、その予算付けた中で可能な範囲に優先順位付けをしていくのだと思いますが、そういったものにもう少し、小中統合していく上で、中学生にもちょっとプラスになるような予算を付けてあげてはどうかと思いました。

委員長 備品関係も計画して頂きたいと思います。

委員 それでは、少しセキュリティのことでお伺いしたいのですが、カメラなどは設置する考えはありますか。

職員室を小学校のほうに作るとなると、教室が1番上の階になったりして、何かあった時にすぐに行けないので、わざと目立つように付けてもいいのではないのかと思いました。

プライベートなこともあるので何とも言えないのですが、あったほうが良いのではないのかと思いました。

次 長 防犯カメラは外には小中学校ありますが、一般的に教室までは付けていないです。犯罪を監視するわけではないので、教育の場であり、全国的にプライバシーの問題があるので付けないというのが一般的です。

委員 はい、分かりました。

委員長 外の防犯カメラも計画に入っていますか。

次 長 外の防犯カメラも今現在設置していますが、移設できるかも含めて、それは検討して設置する方向で考えています。

委員長 他にありますか。

委員 最初菊地副委員長さん、それから中学校のPTA会長さんが視察で行ってきて、すごく良かったというのが、何かこの話を聞いていると、建設規模の縮小やコスト削減の観点からって言われると、何か小さくなってきて、これは中学校使えるぞ、この部分は使えるぞというふうな感じで、新しく統合される小学校の校舎というのは、どういうイメージなのだろうかというのが、なかなかイメージが湧かなくて先ほど、冒頭、菊地副委員長さんが言われたように、後世に残すすばらしいものというふうになっていかなければならないのかなと思いました。

先ほど鈴木先生がおっしゃったように、何が必要なのか、何が大切なのかと言った時に、学校を核とした地域の活性化というのがとても大切になってくるのではと思います。

せっかく作るのであれば、それを実現できるような学校になっていかないといけないというふうに私も感じていて、地域の人たちが集まる広場、広いホールもあり、しかも自由に集まることができるホール、図書スペースがあるようなコンセプトがまず出てくると、イメージが付きやすいのではと思いました。

今の話を聞いていると、後世に残す、持続可能なイメージが結びつかない感じがして、本当に作るのであれば地域が活性化していくような施設、後世に残せるような施設であってほしいというふうに感じてしまいました。

委 員 付け足すというか、私も大変賛成ですが、実は楽しみにしているのは、この交流スペース、多目的ホールというか、そういうものはどのような形になっていくのか、そこも検討して頂ければと思います。

さっきおっしゃったように地域の人たちも活用できるような、それから図書館としても活用できるようなスペースや、そうすると相当な広さになるので、それが、予算的にも無理だということであれば、それは仕方ないのかなと思いますが、何かそういう活用も、ひとつ検討材料に入れていただけるとうれしいなと思います。

委 員 村で小学校を作るのに予算はどのくらい見込んでいるのでしょうか。

この間、大熊のほうで校舎を壊すのに 5 億、建設するのに 20 億補強するのに幾らかかるというニュースを見ました。

その辺、大体どのくらい村は小学校を建てるのに、ここまでだったら出せるよという予算がはっきり分からないのでは、いくらこうしたいと意見を言ってみても詰め込むこともできないので質問しました。

事務局 幾らというのは今出せませんが、そのために今必要諸室を整理してどのぐらいの規模の部屋が必要なのかというところを、この基本構想で整理して、基本構想ができた段階で大まかな概算を出せるのかなというふうに思います。

委 員 基本的に中学校の半分ぐらいの大きさがこっちへ行くような感じでしょか。

事務局 大きさというのが、今まさにこの議題で上がっているところかと思います。

どの部分を使えてどの部分を新しく作らなければいけないのかというところなので、やはりその規模感というのが見えてくると、予算のほうも見えてくるのではないかと思います。

委 員 分かりました。ありがとうございます。

次 長 今、予算の話がありましたが、この部分は実際重要なところで、補助を使うと実質、村の負担は2割でできるということはありますが、物価が高騰しているので国が定めている基準額が上がらないと村の負担が増えるようになります。

先週議員と村長で、国会議員へ要望活動を行いました。村長としても議会と共にそういったことはどんどん要望していくと言って頂いております。

予算上のことで、後で説明しようと思いましたが、図書館という話もありましたが、現在村の図書館が湯川村にはないので、その件については村の中で協議しないと進めないところがあります。

予算がからんでしまうということで、今検討しているところです。

教育長 御意見をたくさんいただければと思います。皆さんから絶対に必要だという声が大きくなれば、役場にも届くかなというふうに思います。

委員長 今のお話の中で、作らなくてはいけない教室というのが、単純に考えただけで20室くらいあります。そうすると、小さな校舎では無理だと思います。

だから大きい建物を建てないと駄目なのではないかと私も見たのですが共用部分を抜いて、20室ぐらいの部屋をつくらないといけません。

それを考えると、やはり小さい学校ではなくて、大きな学校というふうになると思います。その辺も考えて、例えば先ほどあったように地域交流スペースとか、多目的、学年交流スペース、あと図書室とかそういったものを考えて、やはり作ったほうが良いのではないかと思います。皆さんは、どうお考えでしょうか。

委 員 私は個人的にはコンサートというか、子供たちも含めて、発表の場というものができるスペース、どんなものでもいいですが例えば村で行っている芸能発表会のようなものも、その施設を使ってやれたらいいと思います。

そのためには客席も必要になってくるし、そういった施設が中心にあるというような、でもこれも先ほど言うように、お金がかかるという問題があると思います。そういうものが、ぜひ

必要だという声が上がらないと多分、実現は不可能なので、個人的ではありますが、多目的ホールというのを検討いただければと思います。発表会をやるというのは書いてあったので、段差だけではちょっと不十分ではないかと思いました。例えば、飛び出し式の椅子が設置されて、それが階段状に出てくるような、これもお金がかかるので、あくまでも、一つの考えということです。ただ、もっとみんなが楽しめる、小学生、中学生だけではなくところまで広げていくというのは村民の皆さんにも理解していただける一つにならないかと、アイディア止まりで申し訳ないですが、私の意見になります

委員長 はい、ありがとうございます。

時間も時間ですので、次にいってよろしいでしょうか。

児童クラブと地域の開放性が絡む話なのでまとめてお願いします。

(4)「児童クラブ」について学校教育係片桐が資料に基づき説明した。

【質疑応答】

委員長 児童クラブについては、整備するということで、ただレイアウト等できないとどこにつくかもまだ分からないので、その辺については今後検討していくということでよろしいですか。

委員 一番は体育館があって、体育館からのものの出し入れ、それを配慮しなくてはいけないだろうと思うのと、それから教室が1階建て2階建てという形になったとしても、6教室または対面で3教室、また廊下を挟んでの教室になるのかでも、使うスペースが変わってくるだろうというところで、そこに併設、北のほうから並べていくのか、すぐ隣に作るのかということになると校庭は分断されてしまうのかと思いました。

別途で建てる、例えば相撲場があったところに建てるのか、そういう案もこれから検討されるのかとは思いますが、その空いているスペースというのは、放課後児童クラブ専用と分ける必要はないですが、遊び場として使えるようなものであってもいいのではと思いました

それに伴って砂場を作るとか、子供たちが遊べるようなものを作ってあげるのも必要ではないかと思います。最低限これは残してはどうかという議論をしていただければと思います。

委員長 そういった点も考えて検討ください。よろしくお願いま

す。

では時間になりましたので、最後に神山先生、お話しただければと思います。

委員 いろいろお話を伺って、この議論を受けて思ったこととしては、湯川村が大好きなゆがわっ子を育むという①のところ、大きなコンセプトになるのではというふうに思ったので、この「2校の良さを受け継ぎ」に変えてみたらどうでしょうか。

またグローバル人材の育成というのは、今、AIが発達して、かなり英語とかも機械がやってくれるような時代になった時に、グローバル化に、グローバル人材としてどんな人を想定しているのかというのは少し疑問に思っていて、本来英語がしゃべれる子供ということであれば、それは本当に必要なのかなと思うところです。

デジタル化、デジタルスキルの習得なども、確かにGIGAスクール構想とかでやられているところですが、全部デジタル化している学校も結構あって、そうすると子供たちがタブレットと話してるではないですが、子供たち同士でグループになってもずっとタブレットを見て、他の子と顔も見合わないというようなところもあって政策的には分かりますが、それで良いのかなと思いました。

デジタルを使うことの本当のメリットはどこにあるのか考えることも大事だと思います。タブレットを使えば良いというふうになってしまうともったいないと思いました。

学校訪問で見せてもらった稲田学園の廊下にいろいろな子供たちが書いた作品が貼ってあって、そこはとても良かったと思いました。

地域との交流というところで面白い取組だなど、図書館等もとてもいいなと思いました。一方で地域と学校をあまりにも一体化し過ぎて、地域ファーストになり子供が置き去りになってしまうような感じになった事例も別の自治体であったので、学校と地域の交流といった時に、子供が置き去りにならないようにというのは注意したいと思いました。

長くなりましたが、ありがとうございました。

委員長 ありがとうございました。

(4) その他

事務局より事務連絡をした。

5 閉会

教育次長が閉会を宣言した。

(閉会 午後 6 時 10 分)